

シックな色調の室内。やわらかな照明に映える山吹色のクッションソファ。
眼下には、灯が瞬く夜の都心の夜景が広がる。
都内の高層ホテルの一室。午後 10 時。研修会から戻った私は、携帯電話のマナーモードを元に戻し、34 階のシングルルームから外を眺めた。
ソファに身を沈め、夜景のパノラマを眺めながら、ノートパソコンを開く。
これから一日余りが、すべてから開放された一人だけの時間だ。
仕事の喧騒(けんそう)から離れ、まとめて自分の時間がとれる至福の時です。
誰にも邪魔されず、1 人の空間と 1 人の時間は最高のぜいたく。
そんな、“非日常”を満喫しつつ、ふと窓の外へ目をやると、オレンジ色に浮かぶ東京タワー。
そのまま右側に視線を移すと、青白く光輝く、六本木ヒルズ。
『ヒルズかぁ...、よしッ、負けてられないな！！』
私の闘志に火がつく瞬間です。
リフレッシュしつつ、更なる野望に満ちて、フル充電完了。

とまあ、出張時の私のひとコマを小説仕立てにしてみました。

こんな文章を書けるのも、きっと人一倍、本を読んできたおかげでしょう。
つくづく人生には、ムダがないなって思います。
高校時代は 1 日一冊ペースで文庫本を読んできました。
その本代を稼ぐために、ライオン堂で 3 年間バイトしてました。
今でも憶えてます、時給 360 円、夕方 5 時から 7 時までの二時間勤務で、720 円。
当時、文庫本一冊 300 円程度でしたから、1 日一冊ペースでもお小遣いに不自由はしませんでした。
年間で 365 冊、3 年で 1000 冊以上ですが、本を読んでよかったか？
答えは『NO』！
ずっと、そう思って生きてきましたが、もしかして、こういう文章を書けるのも、ヘラヘラと理屈をこねた話ができるのも、すべて読書のおかげなのかなぁ～なんて、最近思います。
だからやっぱり、本は読んだ方がいいと思います。
ミステリーでもいいし、ラブロマンス系でもいいでしょう、図書委員がすすめているのは、主に自己啓発系ですけど。これもいいよ、なんせ、その人の人生がたった一冊の本で体験できちゃうわけですから。その人と同じ人生を歩まなくても、その人が得た“気付き”だけを、自分の人生のエッセンスとして取り入れられるわけでしょ。
例えば、職人さんが、何十年もかかって得た技術を、弟子に教えるのは、ほんの数分です。
こういう時は、こうすれば簡単に、キレイにできるよって、教えるのも数分。
ようするに、その職人さんと同じ年数、同じ苦勞をしなくても済むということ。

だから、本も講演会も同じ。

講演会で人前で話しをするのも、一冊の本を書くのも全身全霊でやるわけでしょ。だから、それがその人の最高の知恵なんだよ。

その人と同じ苦勞をしなくても、人生にとって大切なことを、ほんの1時間、2時間で吸収できちゃうんだから。

そう考えたら、3000円、5000円の講演会って高いんだろうか？

一冊、1000円、2000円の本代って高いの？

もし職人さんに、あなたが何十年もかかって得たあなただけの技術を、3000円、5000円というお金で、誰にでも教えて差し上げられますかって聞いたら、きっと答えはNOでしょう。

以前、図書委員おススメの本で、「1歳から100歳の夢」ってありましたが、これもいい本でしたね。1歳から100歳までの100人の夢があり、1歳、2歳とページをめくる度に成長していく夢に微笑み、同世代の夢に心打たれ、親の世代にも夢があることを知り、こんな風に年をとりたいなと、お年寄りの夢を読む。

もうみなさんは読まれましたか？いつも言うでしょ、行動に移さなきゃ何も始まらないって。もちろん、誰も同じく感動するとは限らないよ、でもせっかくだよってススめられてるのに興味を示さなかったら、何も変わらないじゃん。

忙しいとか、家庭があるとか、お金がないとか、グチを言い出したらキリがない。

不平不満、不足不満を言いながら、幸せになった人、夢を叶えた人を、私はみた事がない。

斎藤一人さんがよく言われることで、あの世とか四次元の世界が仮にあるんだったら、そこは想念の世界だから、思いはすぐに叶う。

この世は三次元だから、必ず行動が伴わないとダメなんだよ

よく友達に、一人さんの話を聞かせてあげると、とっても喜んで聞いてくれるので、少しご紹介しましょう。

『成功することは簡単だよ』

みんな頭が良すぎて成功しないだけで、ホントは簡単なんだよ！何度も言われるんですよ。私たちのクセなんでしょう、自然と難しく捉えちゃうんでナカナカ上手くいかなかったりするけど。でも成功者が言ってるんだから簡単なんだと思わなきゃ。

これは、一人さんにお会いした時に私が、どうしたら成功できますかって質問した答えです。やっぱ俺って凡人だなあ、質問が。

今度は、こんなこと言われました。

杉原くんは、熱く生きてる？

はあ？ ですよ、普通。 そのあと一人さんがこう続けたの。

太陽がなんで、明るく暖かいかわかってる？って。

それは熱く燃えてるからだ。だから、杉原くんも太陽のように熱く燃えて生きないと周りの人を明るく暖められないよって。

すごくない？

普通にこんな会話です。いまだに一人さんが人間だなんて信じられない、でも実際に目の前に存在してるし、ウソでもなんでもなく身近にいるんだから。

ほんとは、直にみんなに話して聞かせられれば、いいんだろうけど、なかなかそういう機会もないので、この紙面でカンベンして下さい。文章で上手く伝わるかどうか微妙だけど....。

友人たちは、酒飲みながら、こんな話しを何時間も聞いてくれるんだ、この前なんか隣のお客さんまで、もっと聞かせてって、気がついたら私の独演会になってましたが....。

では、一人さんシリーズもういっちょ。

斎藤一人さんと会って話しているとスゴイ自信に満ちた話しをされるんだよ。

とても強くみえる。だけど、ものすごく謙虚。

人の前で威張ってるのを見たことないし、怒ってるのをみたこともない。

怒りっぽい私は、どうしたら一人さんのように寛大になれるかって聞いちゃった。

(またアホな質問)

そしたら、一人さんがこう答えてくれました。

自分の才能だよ、長所ってというのは
神さまが与えてくれたもの
それを伸ばせば成功しちゃう
成功したらそれは神さまが与えてくれたものだから
自分が威張る必要ないよね
自分が傲慢(ごうまん)になる必要ないよね

どうです？

それが根本になってるから一人さんには謙虚さが同居してるんでしょう。(真似できねえ~)

残念ながら、とうてい全ては、ご紹介できませんが、飲み屋で好評だったもので(笑)

それからもうひとつ、一人さんがよく言うのが、否定的な考え方はやめようとか不平不満は言わない、泣き言や文句も言わない。なぜなら、運やツキが逃げるから。

それよりか、『うれしい・楽しい・幸せ・ありがとう・愛してる・大好き・ツイてる』この、七福言葉を言いまくろう、すると自然と悪口なんか出てこなくなるよって。

最後に一人さんに教えていただいたこと。

それは、『成功者のみんなに共通してるのは本好きだから。』 よし、俺も本読もッ！

さて、話は変わりますが、

もうじき忘年会です。いや望年会にしましょう。

今年は、ご存知のことと思いますが、若松の御宿東鳳です。でも勘違いしないで下さい。

儲かったから、豪華で盛大な望年会をする訳じゃありません。(むしろ儲かってない...ト赫)

いつも若松の人には、喜多方まで来ていただいているので、たまには若松でやろうかと。

ではなぜ東鳳なのか、それは支配人と同友会の理事仲間だから。

他に安いところといっても 60 名から収容できるところは、ナカナカないから、だったらお付き合いのあるところで、お金使わせてもらった方が、お互い幸せだと思って。喜多方から行く人たちは、今回大変かも知れないけど、それは若松の人たちがいままで思っても、口に出さなかったこと。

私個人も、よく会合や集まり、定例会など若松が多いので、若松在住の社員さんの気持ちは痛いほどわかってました。何時に集合であれ、一度も不平不満がなかった事、本当に感謝しています。

ところがドッコイ、今回は喜多方組の社員が多いため、なかなかスムーズに事が運ばないようです。

まあ、何はどうぞあれ楽しい望年会になれば、それでいいんだけど。

去年の忘年会は、私が全てに関わったので、ある意味 8 割くらい私の企画した忘年会でしたが、毎年私の企画ではつまらないので、今年はみなさんにお任せしましょう。

ただし、以下のことだけは決めさせていただきます。

2006 年 12 月 23 日

御宿 東鳳

研修会 14 : 00 ~ 16 : 00

温泉入浴 16 : 00 ~ 16 : 50

望年会 17 : 00 ~ 20 : 30 中締め 20 : 00 頃予定

二次会 各自

それと、レクリエーションに私を参加させない(マジでニガテだからね・笑)
あと、今回業者を招待するのは見送りました。

ここまで、社長権限により決定です。

あえて宿泊は強要致しません。むしろ日帰りの方が会社負担的にはありがたいです。

私も宿泊予定はありません。なぜなら

いつも若松に飲みに出ると三時過ぎまで飲んでるので、旅館に朝帰りもどうかと思って予定しておりません。

私の個人的な意見としては、望年会であれ、委員会であれ、必ず意味があると思ってる。

その最たるものは、各事業部間を越えた社員同士のコミュニケーション。

人間関係がうまくいかなくなる一番の理由は、コミュニケーション不足から。

あえて他の事業部の人達と仲良くなる必要はないかも知れませんが、でも同じ事業部にニガテナ人がいるように、もしかしたら他事業部にとても親しくなれる人がいるかも知れませんが、

そんな貴重なことを避けるのは、もったいないと思いませんか？

出会って大事だと思う。人生を大きく変えるから。

この前、介護に早川先生がいらっしやいました。きっかけは、妻が早川先生の研修に参加したのが、そもそもの出会い。たまたま気にいられて、個人的にお世話になっているんです。

ところがスゴイ先生で、介護ビジョンという雑誌に“介護事業部みらい”を掲載して頂くことに早川先生のおチカラで決まったんです。しかも全国版。

私もありますよ、東京の研修会でたまたま隣同士に座っただけの人と名刺交換したら、後日、その彼からハガキが届いて、今度東京に来たら一緒に食事でもしましょうって。まさか、隣に座っただけの人からハガキが来るとは思ってないから、とても驚きました。それからお互い連絡を交わすようになって、ついに再会して食事の約束も果たせました。不思議でしょう、たまたまヨコヨコとなり座っただけの人と縁があるなんて普通は思わない。もし偶然だとしたら、すごい確率。お互いその研修には出ても出なくても問題ない程度の研修会だったから、当日、他に予定が入ればドタキャンしたかも知れない。しかも座る席は自由だったから、お互いが出会う確率は相当低い。やっぱ必然かな。出会うべくして出会ったと考えた方が自然だし。その証拠に、いまだに友達付き合いしてるしさ。間違いなくいえるのは、もしあの時出会わなかったら、その彼とは、絶対に一生出会うことはなかったということ。こういう話、ニガテな人もいると思うし、こじつけだよって否定する人もいると思う。たしかにそうかも知れない。でも、もし全てが、たまたまだったり、偶然の積み重ねだけの人生だとしたら...

結婚相手も、たまたま結婚したいなって思ってた時期に出会った人と、たまたま結婚して、その後、たまたま二人の子どもに恵まれて、って考えるのと出会うべくして出会った運命の人と結婚して、自分たちの子どもとして、生まれるべくして生まれてきた子どもたち。とらえ方の違いだけど、考え方で幸せな人生が送れるなら、そうすべきじゃない？

なんか話しがズレたけど、望年会とかでは、仲の良い人たちだけとベッタリで終わるんじゃなく、普段話したことない人と会話する絶好のチャンスですから、ドンドン積極的に出合いを広げた方が間違いなく豊かな人生になるのではないのでしょうか。

『金持ち人生より、人持ち人生。』

お金を貯めるより、友人を増やすことの方が、豊かな人生のような感じしない？人生にムダなんてない。すべてに意味がある。なかなか文章では、伝わらないかな。ゴメン。今度さ、私と食事会、飲み会、雑談、その他なんでもOKだけど、個別にみんなとそういう時間を持ちたいと思います。必ず実現させるから待ってて！。

平成 18 年 10 月吉日

株式会社 杉原建築設計事務所
代表取締役 杉原 吉朝

P r e s e n t !

以前、前世の話をしたのを憶えてますか？

その時に“ソウルメイト”って単語を使ったら、後日いろんな人から“ソウルメイト”って何ですか？って、よく聞かれたんです。

ソウルは魂(たましい)で、メイトはクラスメイトのメイトと同じ、友とか仲間ってという意味だから、ソウルメイトは魂の友。といったところでしょうか。

前世があるとかないとか、信じる信じないの話ではなく、真実として、受け止めた方がより自然です。事実ではない、ただの偶然の重なり、と考える事の方がムリがある。

いずれ機会があれば、詳しく説明しようと思ってたけど、たまたま TV で“ソウルメイト”、“前世”の放送があったので、ぜひみんなに観て頂きたくて、ダビングしたものをプレゼント致します。今回は DVD のみですが、ビデオの方がいい方は交換しますので、事務までご連絡下さい。

もう一度いいます。

前世があるということは、人は生まれ変わっているという事。

実はこの前世の話も斎藤一人さんに聞いた事があります。

一人さんの前世の話は後日機会があれば、非常にわかりやすい話です。さすが一人さん。

私にもみなさんにも間違いなく前世があります。100年前なのか、200年前なのかは、その人によりますが。

輪廻転生(りんねてんしょう)

うれしいことに、結婚相手、自分の親、もしくは子供、親友など、生まれ変わりが常と同じ時代を生きている。

意味わかるかなあ？ぜひビデオを観て下さい。愛する人とはいつの時代も一緒だということ。もちろん親や子供も、友人も。だから、ソウルメイト。

実は赤ちゃんは、生まれる前の記憶を持って生まれてくるんです。

つまり3才くらいまでは、前世の記憶があることが、すでに医学的に証明されてる。

なぜ、3才程度で前世の記憶が消えるかということ、言葉が話せるようになってしまうから。

今回のビデオには、3才程度で消えるべき前世の記憶が、なぜか6才程度まで消えなかった子供の話です。そこまで記憶があると、いろんな事を話してしまいます。しかもその前世が60年前と、比較的最近であったため、裏づけとなる証拠が残ってた事も大きなポイント。

これ以上の解説はビデオを観ていただいてからにしましょう。

ぜひ、ご家族でお楽しみ下さい。